

2025年度（2026年3月期）
第3四半期

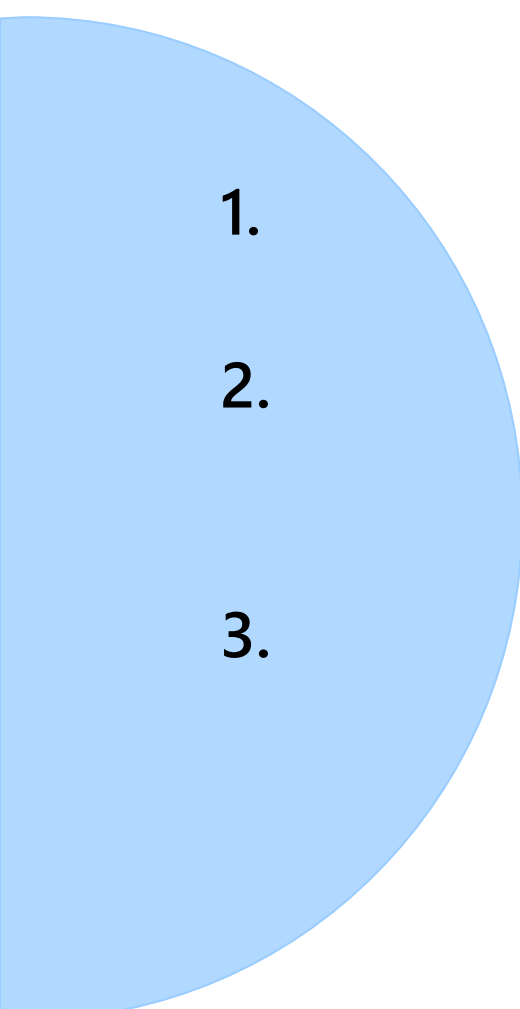
決算説明資料

2026年2月13日

保土谷化学工業株式会社

証券コード：4112（東証プライム）

3Q
FY2025

- 
1. 2025年度 第3四半期 決算概要（連結）
 2. 各セグメントの主要製品
セグメント別 業績推移・動向
 3. 参考
「売上高」「営業利益」「償却前営業利益」

1.

2025年度 第3四半期 決算概要（連結）

2.

各セグメントの主要製品
セグメント別 業績推移・動向

3.

参考
「売上高」「営業利益」「償却前営業利益」

2025年度 第3四半期 決算概要（連結）

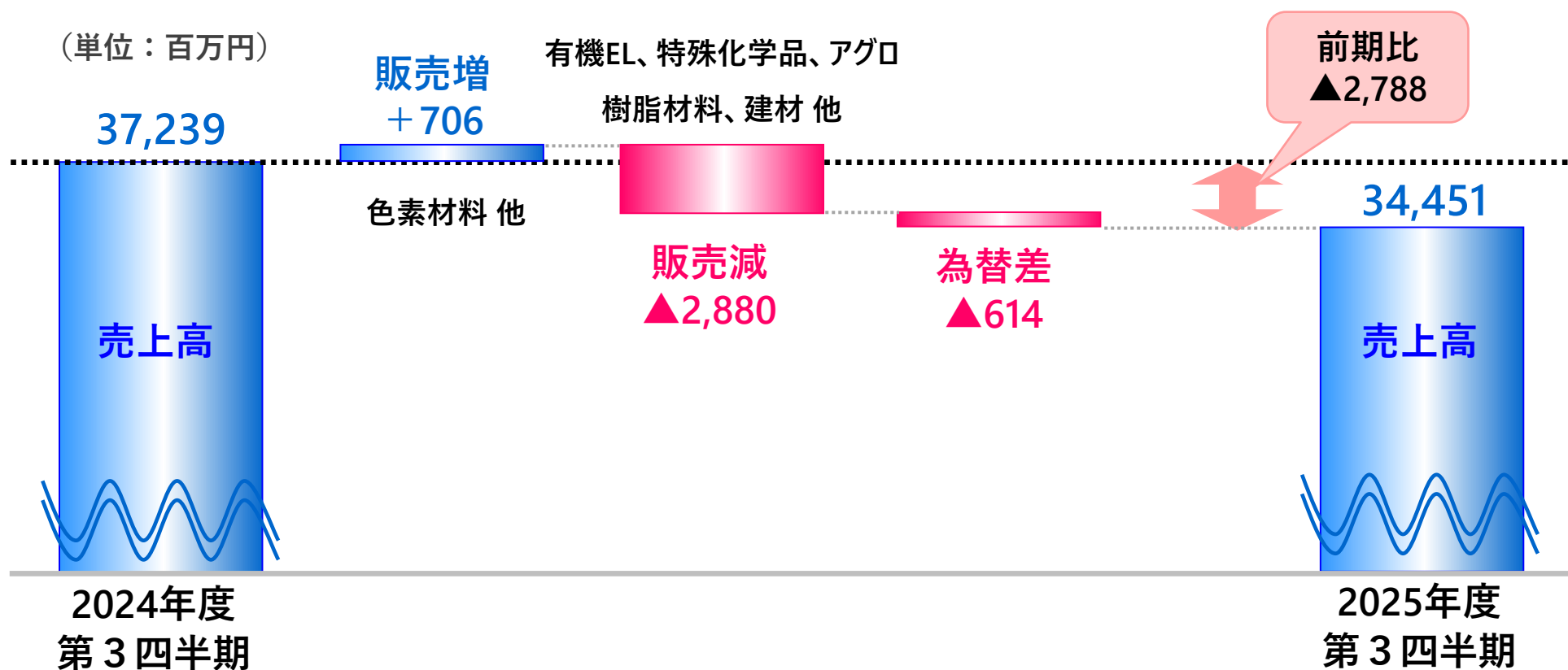
＜2025年4月1日～2025年12月31日＞

連結経営成績 (金額単位：百万円)	2024年度 第3四半期 連結累計期間 利益率(%)		2025年度 第3四半期 連結累計期間 利益率(%)		前期比 増減		2025年度 業績予想 ＜通期＞ 2025/11/11	進捗率 (%)
					増減額	増減率(%)		
売 上 高	37,239	－	34,451	－	▲2,788	▲7.5	47,000	73.3
営 業 利 益	4,584	12.3	2,426	7.0	▲ 2,157	▲47.1	3,500	69.3
経 常 利 益	4,682	12.6	3,062	8.9	▲1,620	▲34.6	3,500	87.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,883	7.7	1,991	5.8	▲891	▲30.9	2,000	99.6

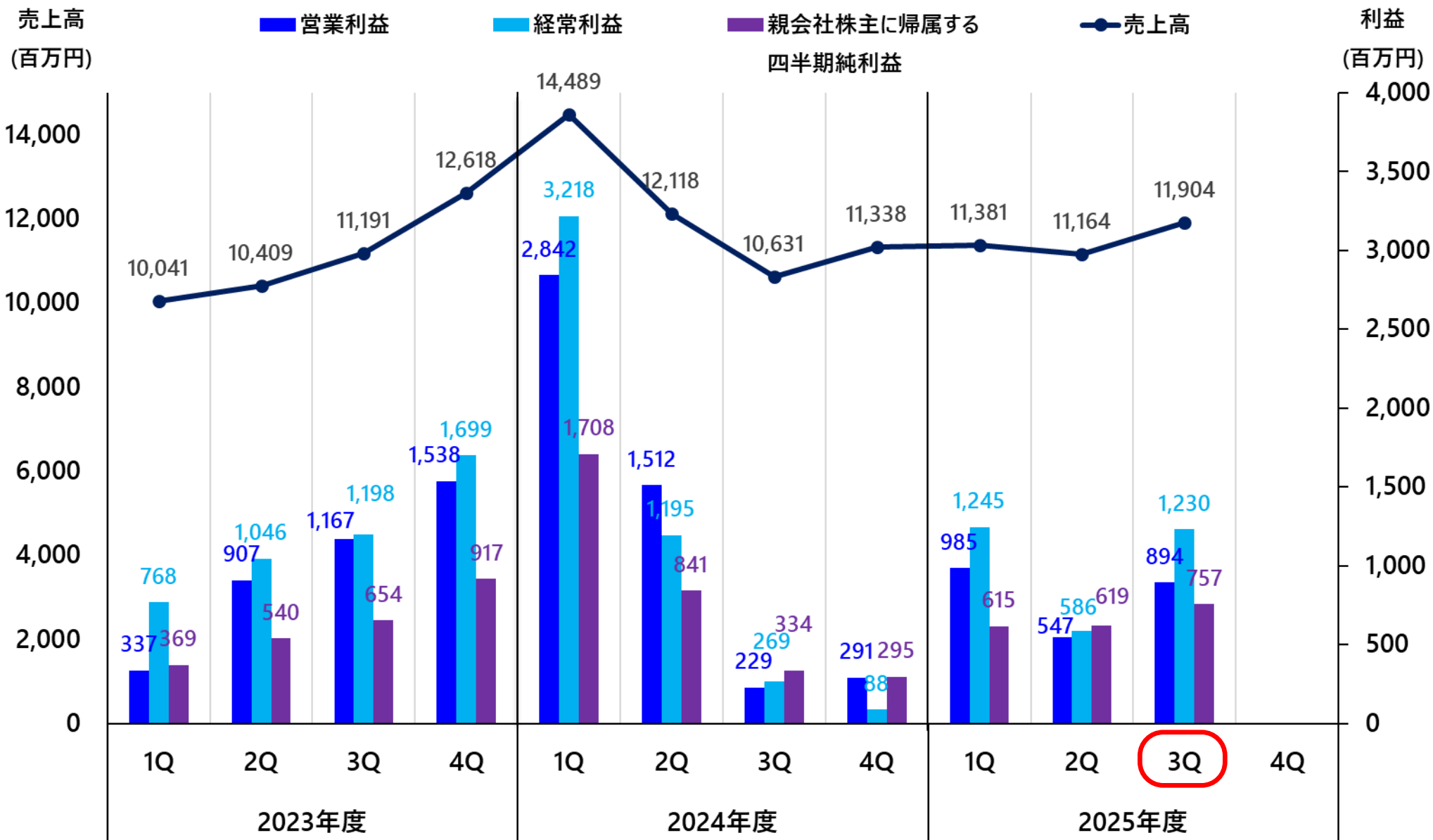
	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	為替レート (期中平均)	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期
1株当たり 四半期純利益	181.48 円 銭	125.27 円 銭	USD / JPY	153.07	149.31
			KRW / JPY	0.1110	0.1061

注) 当社は、2025年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

2025年度 第3四半期連結累計期間において、
特に機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が減少したこと等により、
前年同期比2,788百万円減（7.5%減）の34,451百万円になりました。



連結経営成績業績の推移（四半期毎）



連結貸借対照表 (百万円)	前連結会計年度 (2025年3月31日)	2025年度 第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)	前期比 増減
総 資 産 (現 金 及 び 預 金)	79,858 (10,774)	87,480 (11,662)	+ 7,621 (+ 887)
純 資 産 (株 主 資 本) (自 己 資 本)	58,530 (40,737) (48,601)	63,667 (42,254) (52,446)	+ 5,137 (+ 1,516) (+ 3,844)
自 己 資 本 比 率	60.9%	60.0%	▲0.9%pt
有 利 子 負 債	8,501	9,459	+ 957
連結キャッシュフロー (百万円)	2024年度 第3四半期 連結累計期間	2025年度 第3四半期 連結累計期間	前期比 増減
営 業 活 動 に よ る C F (税金等調整前四半期純利益) (減価償却費)	4,687 (4,757) (2,169)	5,139 (3,068) (2,516)	+ 452 (▲1,688) (+ 346)
投 資 活 動 に よ る C F (定期預金の預入/払戻による増減) (固定資産の取得による支出)	▲5,542 (▲1,187) (▲4,380)	▲3,502 (1,198) (▲4,531)	+ 2,039 (+ 2,386) (▲150)
財 務 活 動 に よ る C F	▲1,188	9	+ 1,197
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 四 半 期 末 残 高	8,504	9,490	+ 986

1.

2025年度 第3四半期 決算概要（連結）

2.

**各セグメントの主要製品
セグメント別 業績推移・動向**

3.

**参考
「売上高」「営業利益」「償却前営業利益」**

機能性色素

有機EL他

- 発光材料、輸送材料、表面保護材料
- バイオ材料（オリゴ核酸合成）
- コピーター用材料
- カラーフィルター用染料
- 半導体用材料（レジスト材料）



色素事業

- アルミ着色用染料
- 文具用染料
- カラートリートメント用染料
- 天然色素（食用・工業用）



機能性樹脂

機能化学品事業

- ウレタン原料（PTG、BIO-PTG、PTG-SOFTENA等）
- ホスゲン誘導体（医薬・樹脂・電子材料用中間体）
- 接着剤
- 剥離剤



建築材料事業

- 土木・建築用材料（ウレタン系）
- 防水・止水工事



基礎化学品

パーオキシサイド事業

- 過酸化水素
- 過炭酸ナトリウム
- 過酢酸（除菌用、食添用）
- 工業薬品



アグロ

農薬事業

- 除草剤
- 殺虫剤
- 殺菌剤
- 農業資材（酸素供給剤）



物流関連

物流関連事業

- 倉庫業（危険物/一般品）
横浜営業所、郡山営業所、南陽営業所
- 貨物利用運送取扱業
- ISOタンクコンテナ保管事業

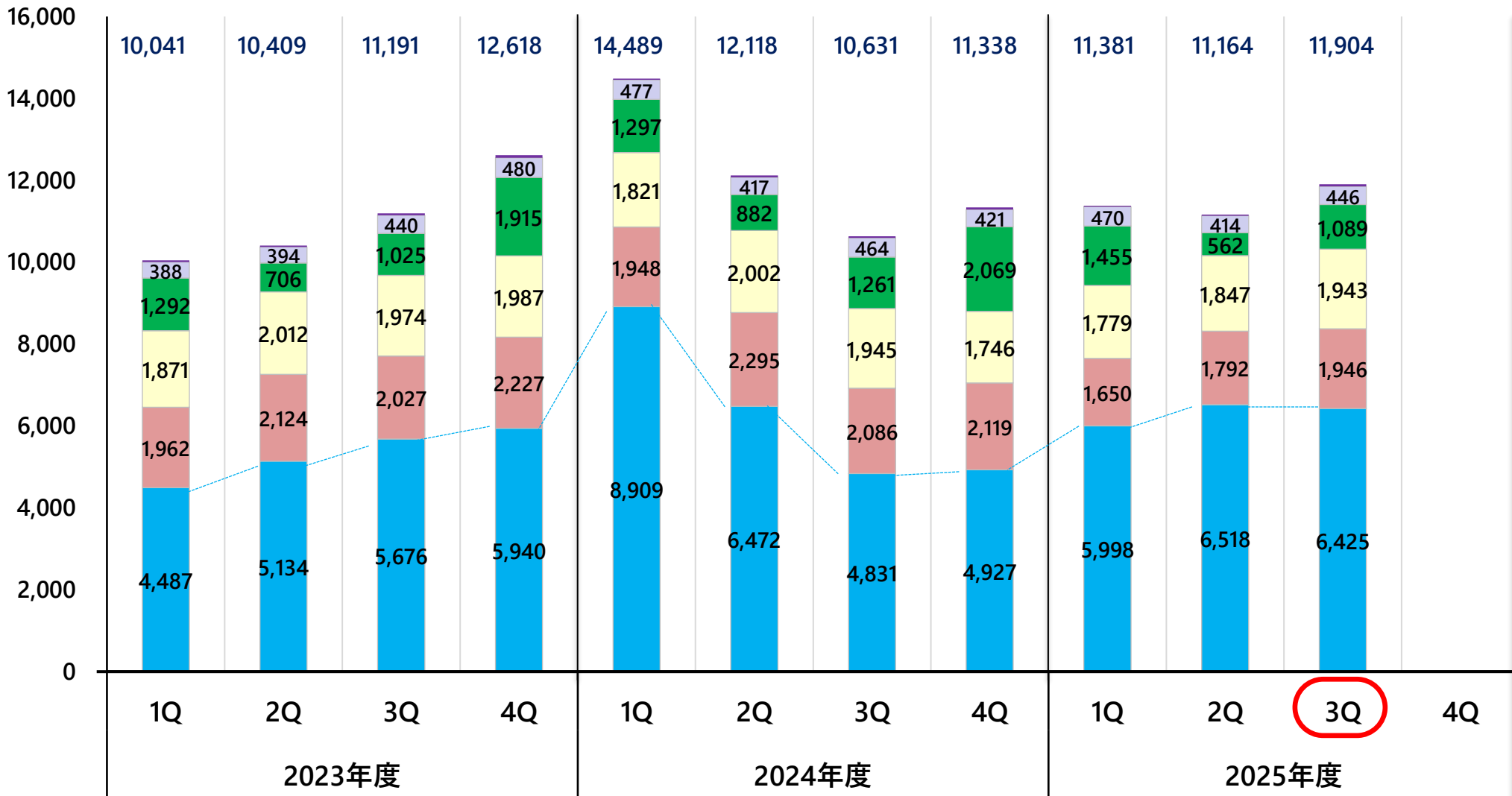


セグメント別 売上高（百万円）	2023年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	前期比 増減
機能性色素	15,298	20,213	18,941	▲ 1,271
機能性樹脂	6,113	6,331	5,389	▲ 941
基礎化学品	5,859	5,769	5,570	▲ 199
アグロサイエンス	3,024	3,441	3,107	▲ 334
物流関連	1,223	1,359	1,331	▲ 27
その他	122	125	110	▲ 14
合 計	31,642	37,239	34,451	▲ 2,788

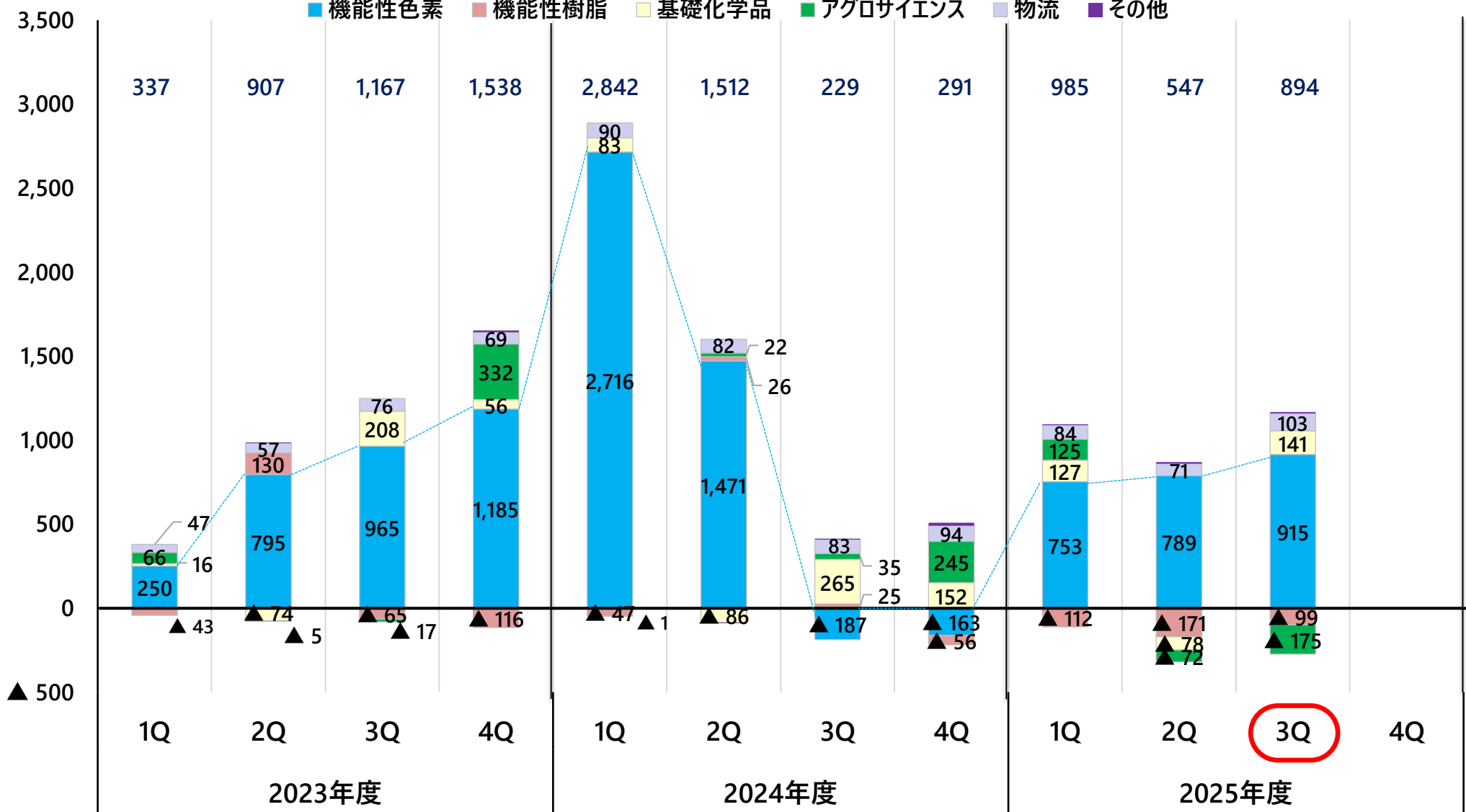
セグメント別 営業利益（百万円）	2023年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	前期比 増減
機能性色素	2,011	4,001	2,458	▲ 1,542
機能性樹脂	21	4	▲ 383	▲ 388
基礎化学品	150	261	190	▲ 70
アグロサイエンス	43	56	▲ 122	▲ 179
物流関連	181	256	258	+ 2
その他	3	2	24	+ 21
合 計	2,412	4,584	2,426	▲ 2,157

(百万円)

機能性色素 機能性樹脂 基礎化学品 アグロサイエンス 物流 その他



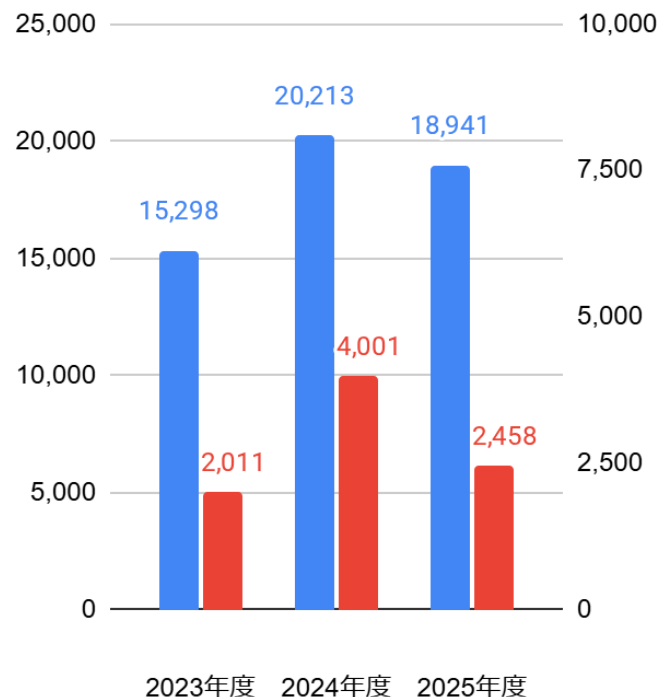
(百万円)



第3四半期（累計）

百万円

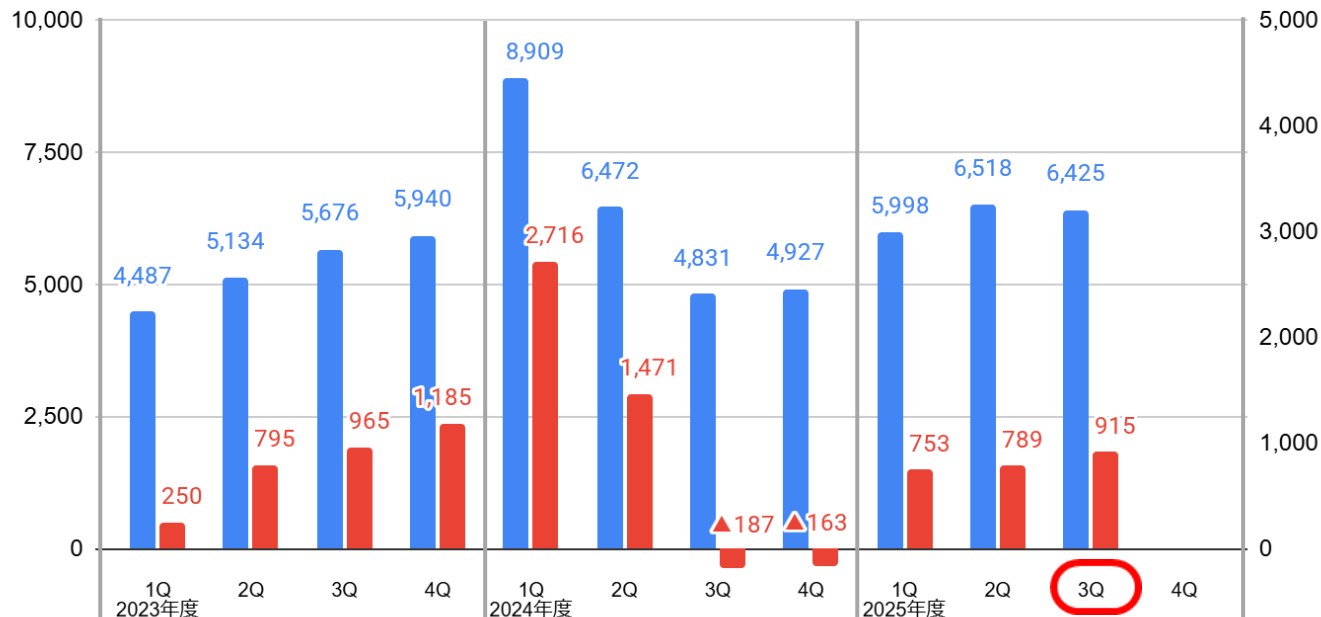
■ 売上高 ■ 営業利益



売上高
(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益

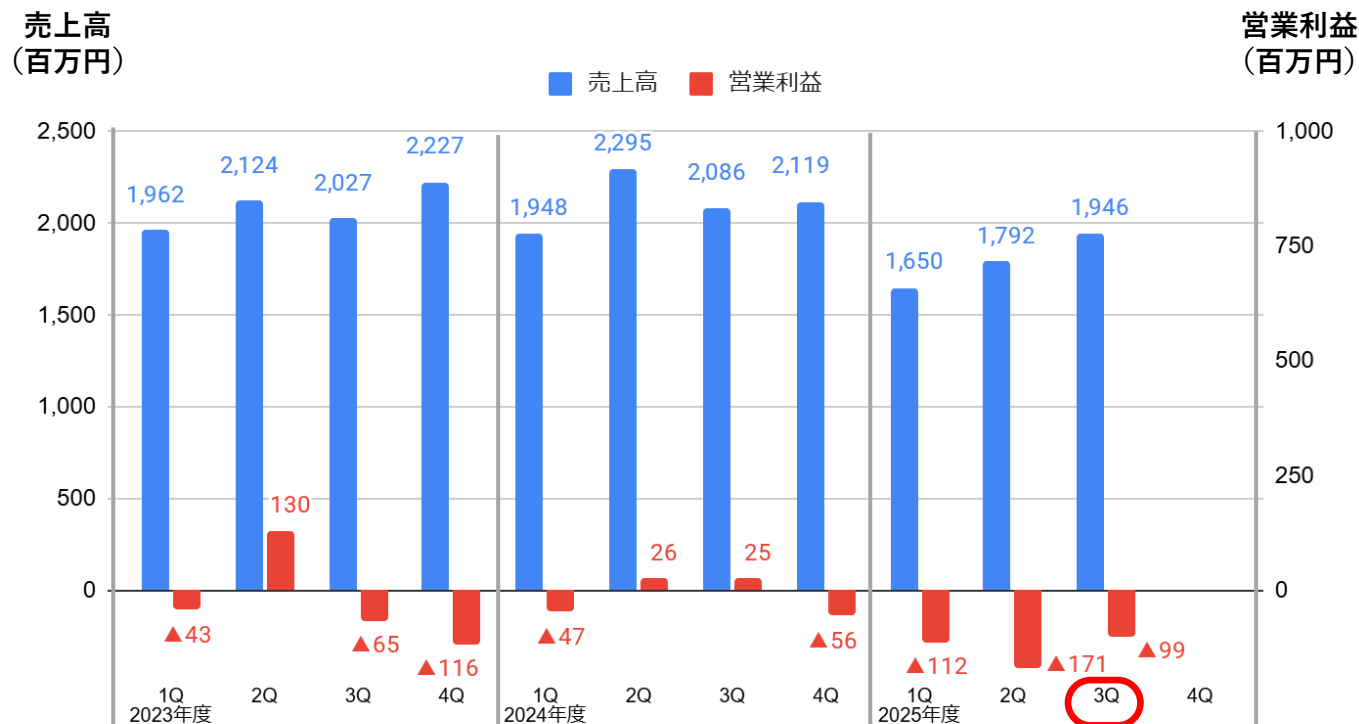
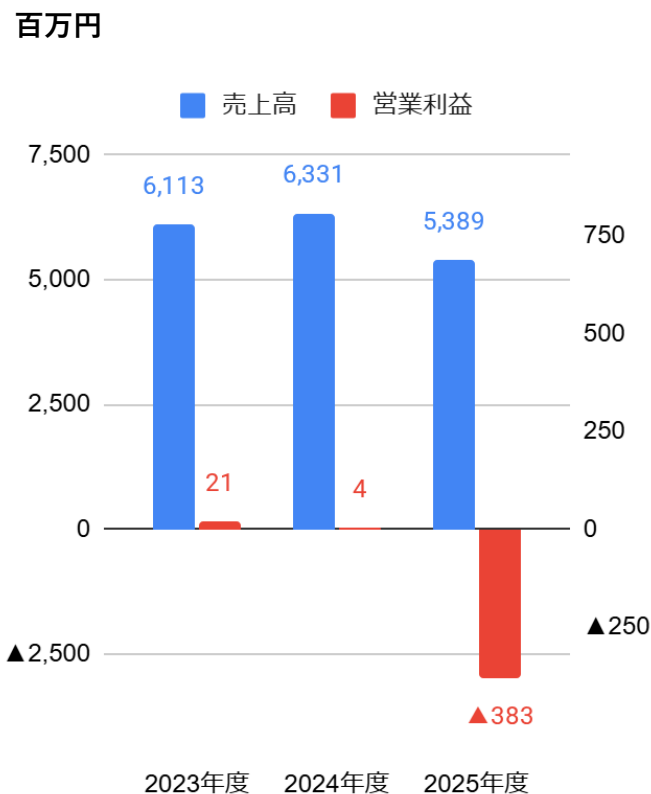
営業利益
(百万円)



各事業の動向

- 【色素材料事業】は、アルミ着色用染料等の需要増加により、大幅な増収となりました。
- 【イメージング材料事業】は、プリンター向け材料の需要減少により、大幅な減収となりました。
- 【有機EL材料事業】は、前年同期においてスマートフォン向けに加えタブレット端末向けでの需要が集中したため、前年同期比では大幅な減収となりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1,271百万円減（6.3%減）の18,941百万円となりました。

第3四半期（累計）



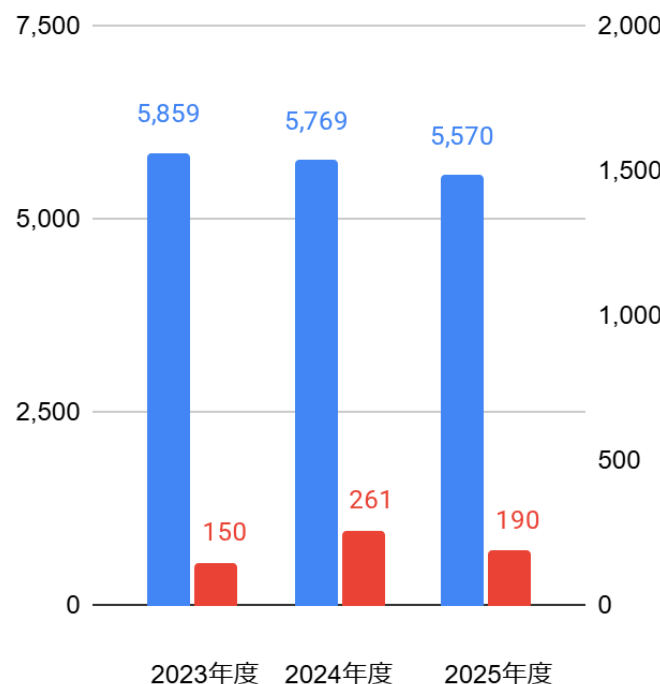
各事業の動向

- 【樹脂材料事業】は、新製品の需要増加等があったものの、ウレタン材料で市況低迷の影響が続いており、大幅な減収となりました。
- 【特殊化学品事業】は、剥離材向け及び医薬向けにおいて、販売先での在庫調整等により、大幅な減収となりました。
- 【建築材料事業】は、ウレタン防水工事の受注減少等により、減収となりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比941百万円減（14.9%減）の5,389百万円となりました。

第3四半期（累計）

百万円

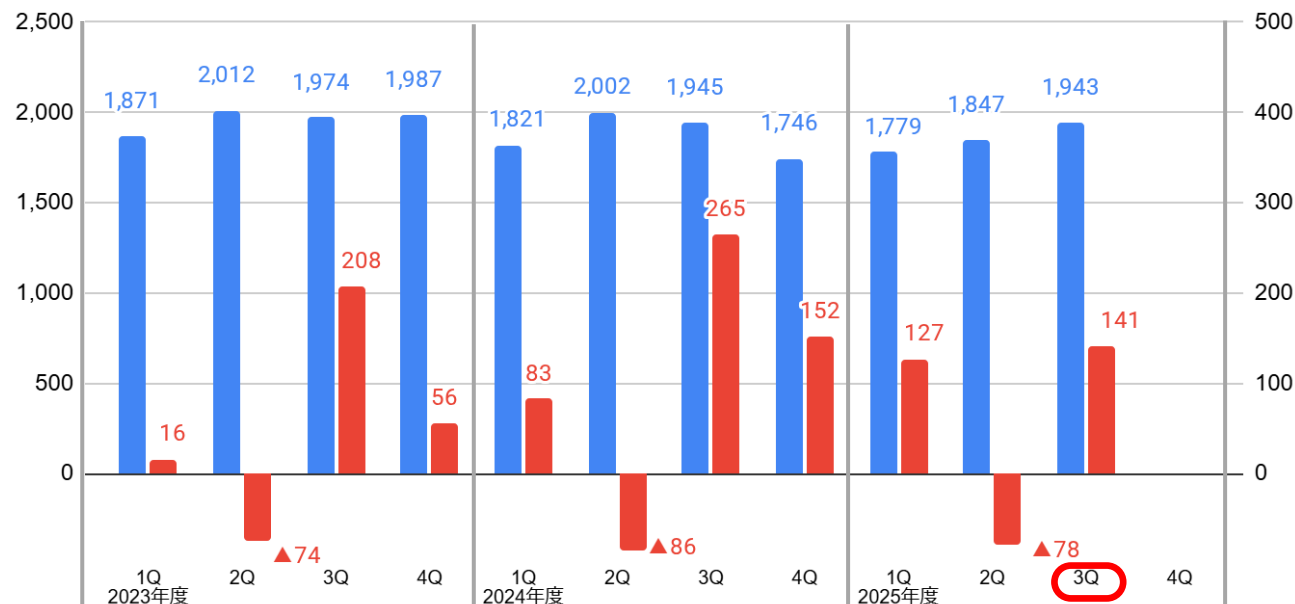
■ 売上高 ■ 営業利益



売上高
(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益

営業利益
(百万円)



各事業の動向

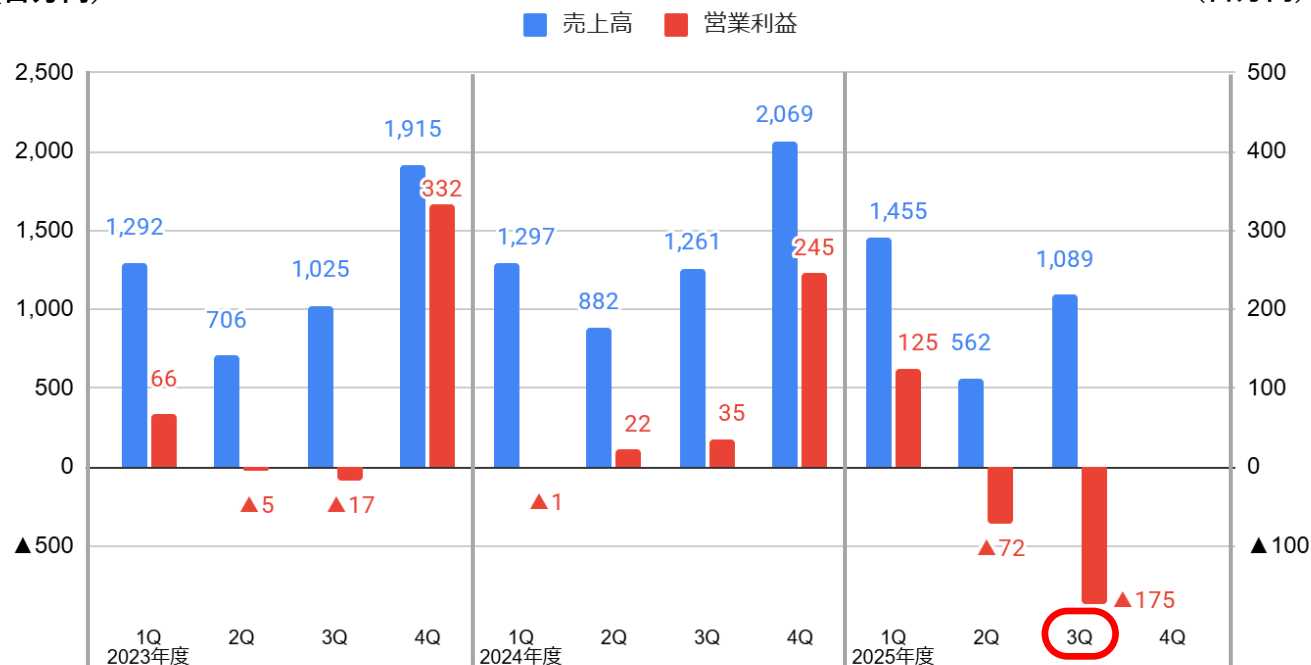
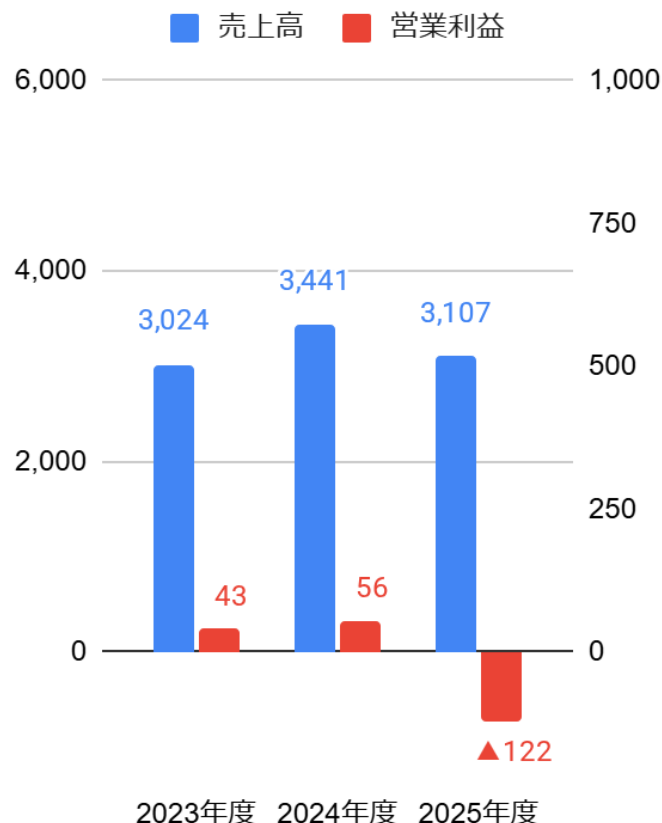
- 【過酸化水素】は、第1四半期に主要顧客で民事再生手続きが発生した影響により、紙パルプ向けの販売が減少したものの、半導体向けの需要増加により、前年同期並みとなりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比199百万円減（3.4%減）の5,570百万円となりました。

第3四半期（累計）

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)

百万円



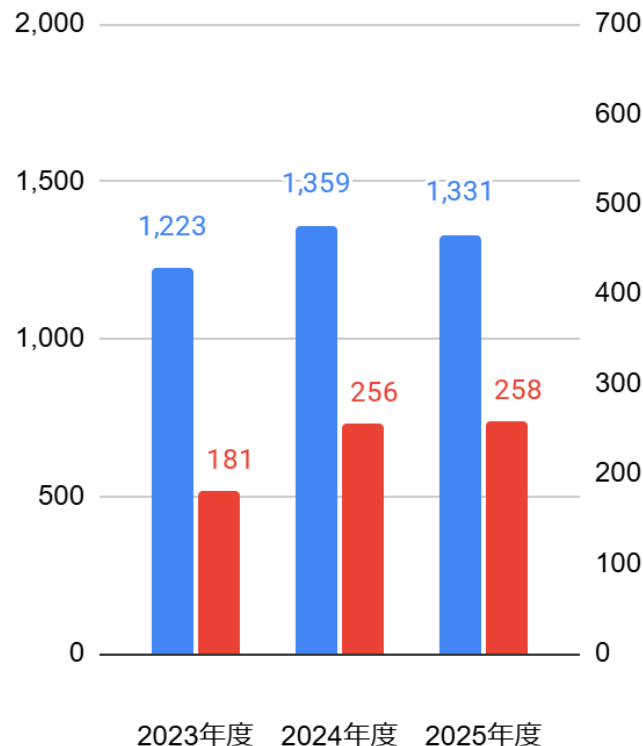
各事業の動向

- 【除草剤】は、ゴルフ場向けや家庭園芸向けで販売先での在庫調整の影響により、減収となりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比334百万円減（9.7%減）の3,107百万円となりました。

第3四半期（累計）

百万円

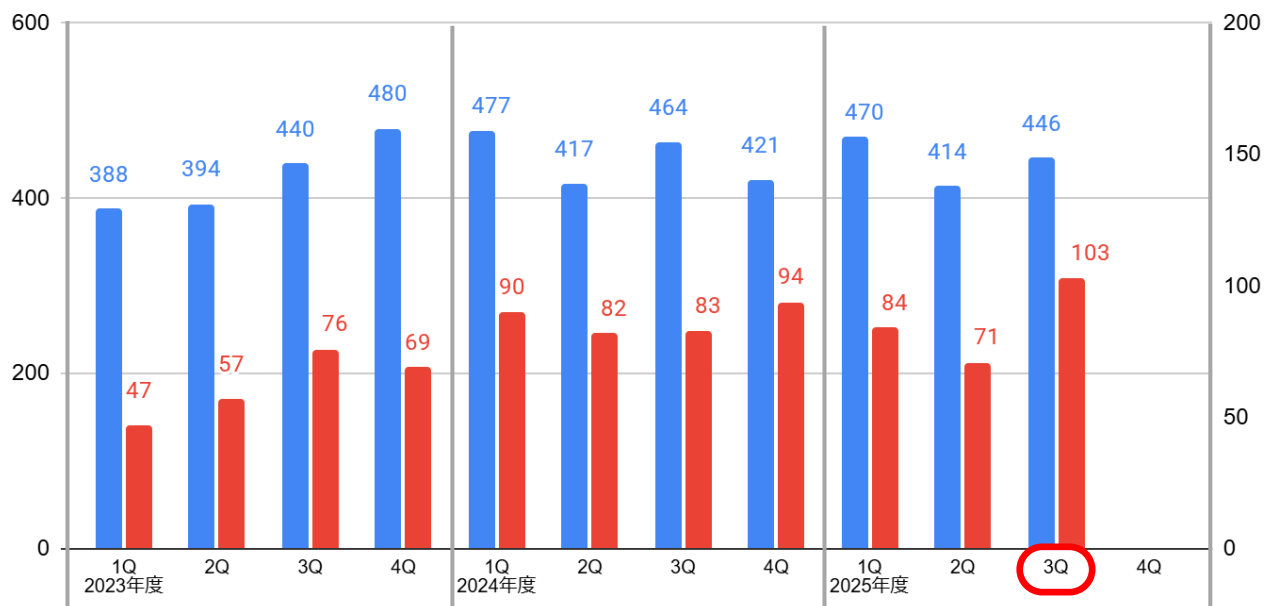
■ 売上高 ■ 営業利益



売上高
(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益

営業利益
(百万円)



各事業の動向

- 輸出入向けの荷動きが鈍かったものの、前年同期並みとなりました。
- 以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比27百万円減（2.1%減）の1,331百万円となりました。

1.

2025年度 第3四半期 決算概要（連結）

2.

各セグメントの主要製品
セグメント別 業績推移・動向

3.

参考
「売上高」「営業利益」「償却前営業利益」

売上高

百万円
50,000

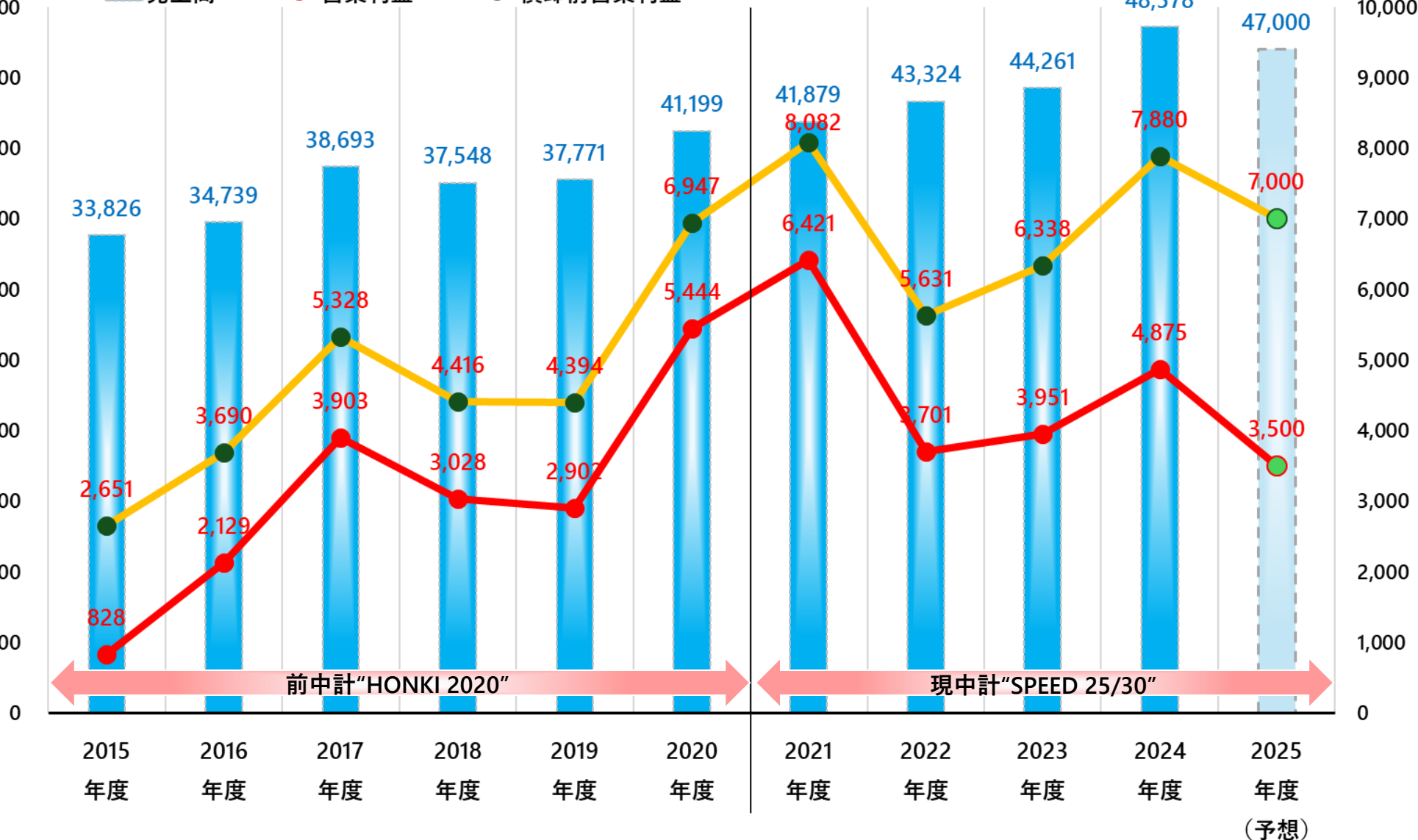
売上高

営業利益

償却前営業利益

利益

百万円
10,000



《 注意事項 》

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・配当は今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

【お問い合わせ先】

保土谷化学工業株式会社
経営企画部

 03-6852-0327

 www.hodogaya.co.jp

